

施政方針

所信表明

私は、町長として町政を担当させていただいてから早いもので来年、1期4年目の任期を迎えようとしています。

この3年間、数多くの会議や行事に出席し、町民や団体、各事業者の皆さまから、さまざまなお意見を直接うかがう中で、これまで実施してきた事業においても、何よりも町民の目線、気持ちに立って、皆さま方からのお声をしっかりと受け止め、町政に反映していかなければならないと、決意を新たにしているところであります。

町長就任最終年を迎え、一層の危機感を堅持しながら、時流に乗り遅れることのないよう、個性的で魅力あるまちづくりに取り組み覚悟であります。

本町の人口減少は、予想を大きく上回る速さで進行しており、より総合的かつ効果的な施策の

展開が必要となっております。

そこで、人・もの・情報など、あらゆる資源を最大限活用することにより、すべての町民の皆さまが「住みやすい・住み続けたい」と実感し、若い世代などが「戻りたい」「移住・定住したい」と思える、ひとときわ輝くまちづくりに向け、町民の皆さまの生活を第一に考え、施策の展開を強力に推進していきます。



予算の概要

3月4日に開催された鬼北町議会第1回定例会において、「令和2年度施政方針」が発表されました。

まちの未来像や今後の取り組み等について、主なものをお知らせします。

新年度予算編成にあたっては、町政運営の最上位計画である「第2次鬼北町長期総合計画」および「総合戦略」を着実に推進するため、各職員が施策目標達成のために質の高い事業を効果的に展開することの必要性を強く意識し、新たな視点と幅広い視野を持って、本町の滞在能力を最大限に引き出せるよう、全職員の英知を結集して全力で臨んでまいりました。

また、町民の皆さまからの貴重な生の声をうかがい、地域の抱える問題・課題を把握して、すぐに実現できることは早急に対応するとともに、可能な限り新年度予算にも反映させていきます。

歳出では、喫緊の課題である、未来を担う子どもたちや子育て世代への支援の充実、超高齢社会への対応のための高齢者支援

の充実などの町民福祉の向上に繋がる施策や、観光施策の推進、質の高い町民サービスの提供などを重点項目に掲げ、予算を優先配分しました。

また、歳入では、引き続き町税の収納率向上や、ふるさと納税の増収など、あらゆる創意工夫により積極的に財源確保に努めていきます。

令和2年度当初予算

会計名	予算額
一般会計	70億2,500万円
特別会計	35億7,872万2千円
公営企業会計	17億8,057万5千円
総額	123億8,429万7千円
前年度比	5.2%減